公益社団法人中部日本書道会
一宮支部報

公益社団法人
中部日本書道会
一宮支部発行
編　集
支部編集部

支部長二期目に向けて
―和を以って貴しとなす―

支部長　村上史麗

令和七年一月二十六日(日)に開催されました令和六年度一宮支部集会に於きまして、二期目の支部長を拝命しました。しかし、その重責に身の引き締まる思いと同時にその責務を全う出来るのかと不安で一杯でございます。

一期二年目には一宮支部創立七十周年の記念の年となり、その記念事業として、則竹穹講師の「―ツキ板を使って楽しい色紙を作りましょう―」を実施し大変好評を得ました。また、六十九回支部展では多くの支部員のご協力にて思い出の書を多数ご出品いただき、私の逸品「宝の書」を展示できましたことは大変喜ばしいかぎりでございました。無我夢中で走り抜けた二年間でした。

二期目の今年は七十回記念の支部展を開催し、記念作品集を刊行する予定でございます。お一人でも多くの支部員の皆様方にご出品いただき、作品集の一ページを飾ってほしいと願っております。また、特別記念展も同時開催できればと計画中でございます。

二期目の支部編成は支部次長に吉田桃花先生、村田光柊先生、牧仙岳先生に変わらずご協力いただけることになり安堵しています。また、連盟会長に高松秀翠先生を始め副会長には小島瑞月先生、倉橋高堂先生、高山紅雪先生とこちらも継続してご協力いただき、大変強力なメンバーを揃えて、支部七十回展に臨めることは本当に頼もしいかぎりでございます。重ねて相談役の先生方、各部長の先生方にもご指導ご協力いただき一宮支部員がワンチームとなり切磋琢磨しながら進んでまいりたいと思います。

ともすれば伝統文化は、時代の大波に飲みこまれる運命にありますが、書はこれまで綿々と続き伝統的なお稽古事として日本人の心に必要なものを育んでまいりました。その証として、日本の書はユネスコ文化遺産の登録候補にもなっています。一宮支部が、その素晴らしい世界をもっと大切にして社会に発信していければと思います。シンプルなもの、本当に大切なもの、伝統的なものにこだわりをもって選びとっていきたいと思います。

令和六年度　支部集会・
支部創立七十周年記念祝賀交流会

支部次長　吉田桃花

▼日時　令和七年一月二十六日(日)
▼会場　一宮商工会議所

令和六年度の支部集会は、本年度より一宮商工会議所に開場を移し、本部より副理事長の松下英風先生、同横井宏軒先生にご臨席を賜り開催されました。

議長に林大樹先生を選任し、事務局より出席状況の報告があり、集会の成立が承認されました。続いて行事報告・事業計画案・会計報告・監査報告が担当者より報告されました。質疑応答を終え、議事は全て満場一致で承認されました。

本年度は役員改選の年です。別室に於いて五名の選考委員に慎重審議を頂いた後、岩田澗流選考委員長より「引き続き村上史麗先生に支部長をお願いする」と発表がありました。新支部長の挨拶では、新たな決意で支部の舵取りをする覚悟が端々にみうけられました。

最後に横井宏軒副理事長からお言葉を賜り閉会となりました。

支部集会に続いて、支部創立七十周年記念祝賀交流会が同開場で開催されました。令和元年以来久しぶりの交流会でした。松下英風、横井宏軒副理事長には、引き続きご臨席を賜りました。

本部名誉会長神田真秋様、前衆議院議員江崎鐵磨様、衆議院議員長坂康正様、同じく杉本和巳様、一宮市長中野正康様、愛知県議会議員を代表して久保田浩文様、最後に本部の松下英風副理事長からご祝辞を頂戴しました。その後、中日新聞一宮総局長市川真様の乾杯の音頭で、創立七十周年記念祝賀交流会に相応しい盛大な祝宴が始まりました。お酒を酌み交わし談笑する楽しい時間は瞬く間に過ぎ去り、閉会の時間となりました。真清田神社宮司辰守弘様の万歳三唱で、惜しまれつつも創立七十周年記念祝賀交流会は幕を閉じました。

令和六年度　書道講演会
―本阿弥光悦の書の魅力―
連盟副会長　小島瑞月

▼日時　令和七年一月二十六日(日)
▼会場　一宮商工会議所
▼講師　増田孝先生

支部集会に引き続いて、支部講演会を開催いたしました。

講師の増田孝先生は、現在愛知東邦大学客員教授・公益財団法人永青文庫評議員としてご活躍されており、テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」の鑑定士で、全国的に有名な文学博士です。

先生は寛永の三筆（近衛信尹・松花堂昭乗・本阿弥光悦）の中の本阿弥光悦を、ライフワークとして研究され、多数の著書も執筆されています。

本日は先生がお手持ちの大変貴重な光悦の真筆の書状二通と和歌一首のお軸三本を、拝見させていただきました。真筆の素晴らしさとともに時代を感じる表装にも大変感銘いたしました。

今日はその二通の書状と和歌についての講演が行われました。

先生は必ず読みから入られるそうです。それにより本物か贋作か等判断できるとのことです。

一枚の書状は慶長五年頃で光悦五十才少し前に書かれており、字はどっしりと線に勢いがあり、太・細のメリハリとリズムがあります。光悦流を確立した時期と思われます。同時期に書かれた和歌一首は、カスレ無しで、のっぺりとしています。これは木版本の印刷ものです。当時は一枚の板に書いてそれを紙に写していました。紙は唐紙で、動植物等の大きな図柄が多く、それに負けない字にするにはと考え、このような書流が生まれたと考えます。

光悦は、五十五才頃に中風（脳血管障害）になり右半身が麻痺しました。病気後に書かれたもう一通の書状は力が入らず、きちんとした字が書けておりません。それでも残っているのは、受け取り人が、書の魅力に惹かれて捨てきれずに持っていたからと思われます。

その後作陶に入り、国宝級の茶碗などを制作しますが、そのきっかけと、不自由な体でどのようにして制作したか等を研究されています。

今後も魅力一杯の光悦に熱い想いを抱かれ、さらにライフワークとして研究に励まれる姿勢に感動いたしました。私も先生より刺激をいただき、書の勉強にさらに精進したいと思いました。

聴講者一〇四名
（内一般聴講者九名）

第七十九回一宮市芸術祭参加

第69回 一宮支部展

支部次長　村田光柊

▼会期　令和六年十一月二十三日㈯～二十四日㈰
▼会場　一宮スポーツ文化センター

本年度も天候に恵まれ、第69回一宮支部展が十一月二十三日二十四日の両日、開催されました。

支部の先生方から一五五名のご出品を頂き、本部から、理事長の伊藤仙游先生、副理事長の岡野楠亭先生、加藤裕先生、松下英風先生、横井宏軒先生の賛助出品を賜りました。

フューチャーズ団体に於きましては、麗筆会、麗生会・光柊塾合同での二団体。個人では、横井静嘉先生ご社中から一名のご出品を頂きました。例年、各先生方の変わらぬご尽力ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、本年度は一宮支部創立七十周年に当り、記念展・私の逸品「宝の書」も併設されました。各先生方から多数ご提供頂きました貴重な作品に、ご鑑賞くださった皆様の魅了されているご様子が伺えました。

また、二十四日には、恒例のギャラリートークが行われ、本年度は支部相談役の則武穹先生が、担当して下さいました。

先生は、三十二才から高木曽水先生の門下生となられ、三十四才で奈良県の今井凌雪、藤岡都徑両先生から漢字部門でご師事。中央展等、富岡鉄斎に基づく制作で活動。四十五才からは、中島藍川先生より篆刻のご師事。彫り続けて四十年。印刻数七五〇個。六十才からは、山口県の高橋博視先生に刻字のご師事。技術交流を続け、社寺仏閣や公民館の看板等を刻字。多種の分野に渡る書業の変遷をお話しして下さり、八十六才現在に至る書との向き合い方へと、続けられました。

「書の表現は色々あるが、今は読んで楽しめる書を観て頂くのがいいなぁ。」先生は現在、読める漢字仮名交じり文で人生訓等を題材にされた制作に携わっていらっしゃいます。先生の活力溢れる結びのお言葉は、「滑って転んで、また起きて、ずっと、もっと、生きてやる。」「書をやっていて本当に良かった。」聴講された皆様が、感銘を受けながら、理想の境地を見直す糧となった貴重なお話、誠に有難うございました。

来年度の支部展は七十回記念展です。更なる一宮支部の発展を祈念し、先生方の多数のご出品並びに、ご尽力ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 中部日本書道会一宮支部

第52回 学生書道展

支部次長　牧仙岳

▼会期　令和六年十一月二十三日㈯～二十四日㈰
▼会場　一宮スポーツ文化センター

今年度は、支部創立七十周年を記念し、特別企画として、自分自身にとって大切な宝物である書の展示会「宝の書」を併催しました。その結果、多くの方々に支部の活動に触れていただく機会を提供できたと思っております。その効果もあり学生展は大変な賑わいとなりました。イベントのカレンダー書き、賞状・賞品引換えは、大変な盛況ぶりで、関係者一同ほっとする間もないほどの忙しさでした。

しかし一方で、今年の出品点数は昨年より約一五〇点も減少しており、ここ数年は、この傾向が続いています。こうした状況を踏まえ、改めて「字を書くことの楽しさ、大切さ」を次世代にどう伝えるかが重要だと痛感しています。ただ美しく書くのではなく、一筆一筆に心を込め、自分の思いを形にする書道の魅力をより多くの人々に伝えたいと思っています。

イベントでは、子どもたちが楽しそうに文字を書き真剣に取り組む姿が印象的でした。そして、自分が書いた作品に印を押してもらった後の満足げな笑顔は、忘れられない瞬間です。このような姿を見ると、文字を書くことの楽しさをさらに拡げる場を作り、多くの人々にその喜びを感じてもらえるよう努力すべきと改めて感じます。今後は、関係者と議論を重ね、書道の魅力をさらに広めるために新たな取り組みを進めていきたいと思っています。

最後に、この企画にご協力いただきました先生方や役員の皆様に深く感謝申し上げます。皆様のご支援のお蔭で、支部創立七十周年を成功裏に終えることができました。この経験を糧に、これからも書道の魅力を伝え続けてまいりたいと思っております。今後とも、皆様方のご協力、よろしくお願いいたします。

総出品点数　二、七九五点
特別出品　四〇点
個人賞（知事賞～菊花賞）　一、一五二点
特選　一、一〇七点
金賞　四九六点
展示作品数　八五九点

いちのみやアートアニュアル2024

▼会期　令和六年十二月七日㈯～二十二日㈰
▼会場　一宮市博物館

依頼出品

安藤蘇道　伊藤玄圃
岩田澗流　亀山雪峰
川浦碧濤　木戸竹葉
倉橋高堂　小島瑞月
近藤芳玉　高松秀翠
高山紅雪　武山翠屋
田代春苑　富田栄楽
中村曽南　則武穹
橋本成良　林大樹
牧仙岳　村上史麗
村田光柊　森隆城
吉田桃花　鷲野紫篁
渡辺月潭

第82回一宮市美術展市長賞受賞者の三名の作品も展示されました。

第82回 一宮市美術展

▼会期　令和六年十一月十四日㈭～十七日㈰
▼会場　一宮スポーツ文化センター

審査員

伊藤昌石　松永清石
岩田澗流　村上史麗
田代春苑　富田栄楽
伊藤玄圃　村田光柊

依頼出品

安藤蘇道　伊藤暁嶺
伊藤玄圃　岩田澗流
亀山雪峰　川浦碧濤
木戸竹葉　倉橋高堂
小島瑞月　近藤芳玉
高松秀翠　武山翠屋
田代春苑　富田栄楽
則竹穹　林大樹
牧仙岳　村上史麗
村田光柊　森隆城
吉田桃花

出品点数　一五八点

一宮支部関係入賞者

無鑑査

内出紅華　倉橋澄雨
近藤由果

市長賞

小川香風　梶木光雪
村上桂峻

教育委員会賞

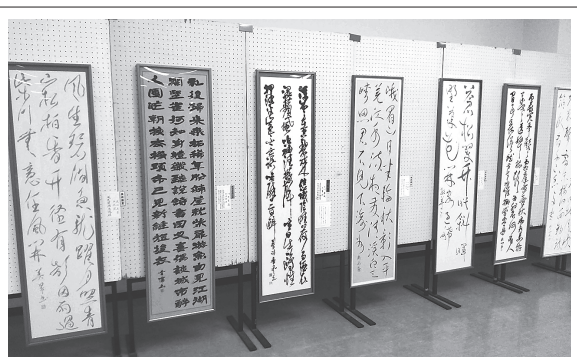
陣内華苑　内藤春翠
橋本佳静

美術展賞

安藤静歩　飯田泰郷
馬場春欄　川本青柊
小島華扇　里中紅華
高桑愛降　高松彩月
寺西三舟　花木寛城
林翠竹　村瀬紫苑
山田紅照　山本瑶華
渡辺静扇　渡辺美翠

奨励賞

安達寿扇　伊藤彩秀
伊藤翠晨　井上紅鳳
小笠原澄遠　川添陽泉
古池恵舟　佐藤幽水
志知隆道　原香風
平野朝陽　平野桃瑶
山田弘子　渡邉萌竹



おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第51回 学生書道展

一宮書道連盟会長　髙松秀翠

▼会期　令和六年七月十三日㈯～十四日㈰
▼会場　一宮スポーツ文化センター

一宮七夕まつり第五十一回学生書道展が一宮スポーツ文化センターに於いて七月十三日～十四日の二日間、開催されました。

今回は、初めての試みで展覧会の案内ハガキを制作し、個人賞受賞の皆さんに、展覧会を宣伝してもらいました。そのお蔭で、友人や祖父母、学校の先生等多くの方々に、ご来場頂き、昨年より来場者数五〇〇名増の盛況な二日間となりました。

毎年恒例の団扇書きも予想以上に参加者が多く、二日目の午後には、団扇がなくなり色紙で対応するほどの賑いでした。

子供たちが、目を輝かせて団扇を書く姿に感銘を受けました。今後も多くの方に展覧会を見に来て頂けるよう努力して参りたいと思います。ご協力のほどよろしくお願い致します。

最後に、本展覧会の開催に際し、ご協力頂きました多くの方々に心より感謝申し上げます。

総出品点数　二、七九九点
特別出品　三七点
知事賞～奨励賞　八一九点
七夕賞　三五四点
特選　一、一一一点
金賞　四七八点

◆一宮七夕まつり学生書道展の本町通り展示

第51回おりもの感謝祭一宮七夕まつり学生書道展に展示した招待出品から服織神社賞までの作品を七夕まつり期間中、一宮中央図書館に展示させて頂きました。

今回は、従来の会場とは違った雰囲気の展示ができました。商店街のアーケード内には、各塾から出品して頂いた、七夕モチーフの趣向を凝らした作品が、七夕まつりを訪れた人達の目を楽しませていました。

本年は、一宮七夕まつりが七十回の節目の年になりますので、一層来場者に楽しんで頂ける作品を準備したいと思います。

一宮書道連盟主催 第30回 選抜作品展

▼会期　令和六年七月十三日㈯～十四日㈰
▼会場　一宮スポーツ文化センター

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第30回選抜作品展が開催されました。

楽しくユニークな小作品の展覧会でした。

（出品者）

亀山雪峰　武山翠屋
木戸竹葉　林　大樹
則武　穹　岩田澗流
川浦碧濤　伊藤玄圃
鷲野紫篁　安藤蘇道
伊藤暁嶺　近藤芳玉
田代春苑　富田栄楽
中村曽南　森　隆城
山田杏華　渡辺月潭
村上史麗　髙松秀翠
吉田桃花　村田光柊
牧　仙岳　小島瑞月
倉橋高堂　髙山紅雪
関戸海越　岩田展穂
横井静嘉　太田紫翠　藤木秀華　市川嶺華　加地孤握　栗本珠路　戸松紅翠　松田樹幹　美濃羽城開　村上桂峻　田中石雲　牧野瑞葉　伊藤美泉　倉橋華仙　中村華風　藤田寒樹　溝口純華　八木彩花　浅野祥雲　伊藤紫鳳　岩崎翠風　鵜飼秀麗　春日井栄嘉　大西影慕　河村抱山　國島英華　後藤月　酒井淑婉　稲葉碧陽　岩田波鮮　大塚菖苑　小川香風　可児長望　川本青柊　小出和香　酒井光華　桜井光雲　浅野揺草　渡辺湖風　吉田美瑞　山本瑶華　山村如翠　宮代霄苑　藤野春竹　原　香　橋本成　野田佳　丹羽碧　西垣美　中村美　長崎成　竹内深　佐藤紅　内藤蘭　陣内藤　中村内　中山芳　村瀬紫　見神恵　廣川蒼　服部稲　橋本静　野杁岳　西村光　中山花　中村泉　森田香　村瀬翠　山田照　吉田葉　山本光　渡辺峰　遊翠汐

令和六年度 一宮支部講習会
―ツキ板を使った楽しい色紙づくり―

事業部長　倉橋高堂

▼日時　令和六年十月二十七日㈰
▼会場　一宮市民会館

今年度の講習会は、相談役の則武穹先生にお願いをして「ツキ板を使った、楽しい色紙づくり」と題して講習会を開催いたしました。会員、会員外より、六十五名の参加がありました。

まず始めに、則武先生に、ツキ板を色紙に貼る工程を実演していただき、その後、各自、作品作りにいどみました。すばらしい作品、楽しい作品ができ上がり、充実した時を過せました。

則武先生のご好意により、先生の色紙作品が、ジャンケン大会にて、十五名の方に当たり、大変喜んで頂きました。

参加された皆様方から、とても参考になり、自宅で作ってみたいと、色紙とツキ板セットを購入される方もみえ、楽しい講習会となりました。

参加された支部会員の方々の作品を十一月二十二日㈯・二十三日㈰の支部展の会場にて展示させていただきました。ありがとうございました。

ご入選・ご入賞 おめでとうございます

◆第11回 日展◆
入選　近藤芳玉

◆第40回読売書法展◆
特選　近藤由果

ご紹介 令和６年度新入会員

岩瀬ひかり　小野坂里楓
城越　千鶴　髙松　光月
平野　朝陽　古澤　萌春
前田　研城　森　想聲
山中　豊翠　渡部　優彩
寺西　三舟　松任　紀柳
宮川　桂風

令和7・8年度　公益社団法人 中部日本書道会一宮支部 部別編成・役割表

※順不同（任期２年）

支部長	村上史麗	連盟会長	髙松秀翠
支部次長	吉田桃花（協会事務局長、集会担当）	連盟副会長	小島瑞月（講演会担当）
支部次長	村田光柊（支部展担当）	連盟副会長	倉橋高堂（教育部長兼任）
支部次長	牧　仙岳（学生展担当）	連盟副会長	高山紅雪（選抜作品展担当）
一宮書道教会常任理事長	小島瑞月（研修担当）		

監事	常任顧問（相談役）
伊藤玄圃	亀山雪峰　武山翠屋
鷲野紫篁	木戸竹葉　林　大樹
	則武　穹　岩田澗流
	川浦碧濤

部別	部長	副部長	委員	分掌
事業部	関戸海越	陣内華苑 西垣美茜 村瀬紫苑	稲葉碧陽　小川香風　小出和香 中村彩香　藤野春竹	支部展・集会・講習会・研修会・イベントの企画運営 部長会の資料の作成・議事進行、事業計画・事業報告書の作成 部長会・学生展・作品整理等の会場手配（連盟は経理）・各種資料の管理
教育部	倉橋高堂	梶木光雪 可児長望 川本青柊	浅野揺草　岩田佳川 廣川蒼岳　渡辺湖風	学生展（支部・七夕）の企画運営 備品の管理
庶務部	岩田展穂	長崎成秀	大橋渓煙　内藤春翠	文書の発送 その他、他部に属さない業務に関すること
経理部 支部 連盟	横井静嘉 村上桂峻	酒井淑婉 溝口純華	鵜飼秀麗　春日井栄嘉 森　翠葉　脇田遊汕	予算・及び決算、収支に関すること 金銭を伴う受付業務、日常の金銭の管理
会員部	太田紫翠	大塚菖苑		会員の管理、会員名簿の作成
編集・広報部	田中石雲	山田紅照		支部（本部）報の編集、発行・各行事にかかわる広報に関すること 各種資料の作成応援・名札の管理・芸文協の編集会議と冊子の配布
記録部	柴田怜玉	藤木秀華		部長会の議事録の作成 各種事業の記録（出欠含む）、及び写真
厚生部	牧野瑞葉	中山芳泉 牧　恵清	阿部舟花　大西影慕　山本瑶華	交流会の司会・進行等運営全般、会員の福利厚生に関すること 各種行事の飲食に関すること　弔事における弔電・供花の手配・本部への連絡

※ 各部に於いて業務執行上、必要において、他部に協力を求めることが出来る。又、協会員にも依頼することができる。（副部長、委員は五十音順）

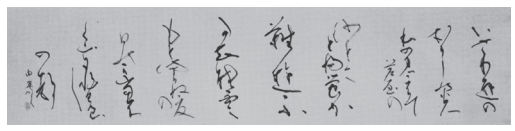
創立90周年記念 第73回 中日書道展

愛知県美術館ギャラリー　第一期　令和6年6月19日(水)～23日(日)
　　第二期　令和6年6月26日(水)～30日(日)
名古屋市民ギャラリー栄　令和6年6月11日(火)～16日(日)

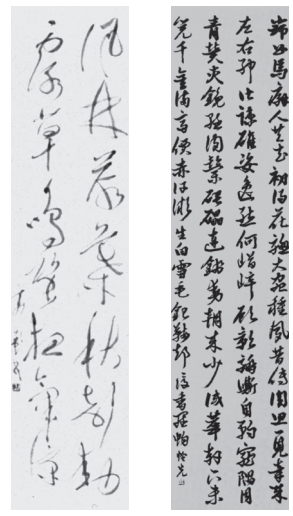
支部からは左記の方々が受賞されました。おめでとうございます。益々のご活躍をお祈りいたします。

記念賞

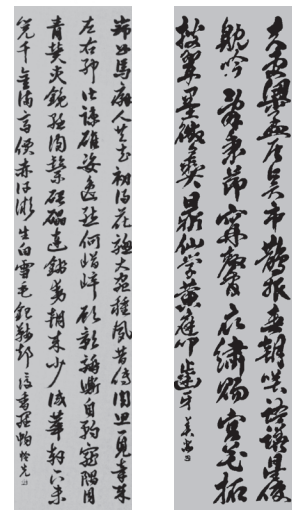
近藤由果



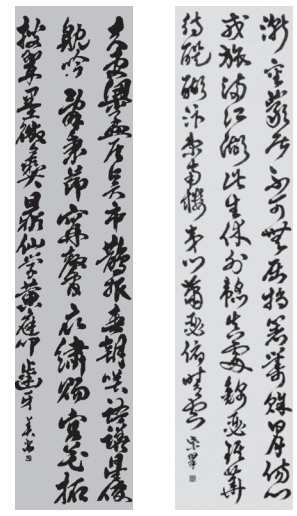
吉田美影



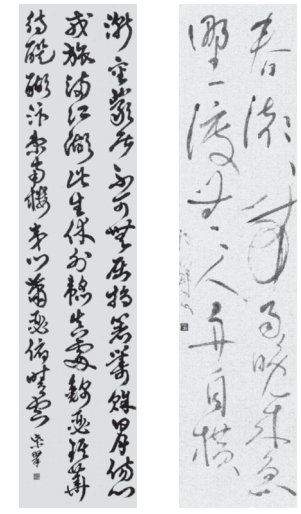
野杁怜光



西垣美茜

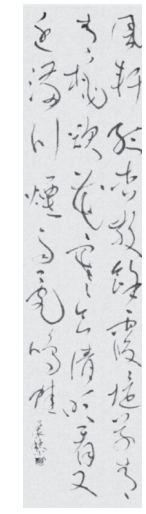


太田紫翠



岩田波鮮

岩田展穂



大賞　松永翠峻　冨田朝煙

準大賞　浅野揺草　梶川朝景　橋本佳静　平野桃瑶

桜花賞　安達寿扇　伊藤佳苑　伊藤翠美　川本青柊　谷桂凜　袴田泉穂　森川峻翠　脇田朝萌

特選　飯田華翠　市川映舟　井浪茉玲　今川流秀　馬場春蘭　大迫寿星　武田芳雨

準特選　櫛田恵翠　久住珠華　後藤翠萌　小西萩花　佐久間清月　佐々木映花　里中紅華　玉置奈緒子　中出紅和　丹羽碧洋　浅野映華　安福陽翠　伊藤鶴雲　伊藤翠晨　今枝翠栄　岩瀬ひかり　大川虹翠　川添陽泉　加藤清苑　日置康苑　服部久敬　則竹彩園　古田翠楊　伊藤麗花　安田家絵美　小笠原美苑

〈一科〉推薦　荒川白扇

〈二科〉奨励賞　山田一華　山田涼泉　山田弘子　山中豊翠　脇田采藍　新井翠眉　安福展翠　鵜飼水影　小笠原寧秀　小川香風　小野坂里楓　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　瀧光瑩　谷口夏鈴　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

〈二科〉秀逸　伊藤紫鳳　酒井照苑　大西影慕　外村幹秀　陣内華苑　則竹彩園　中村真友子　武田芳雨　高松光月　高橋香織　杉山翠蹊　佐藤瑶月　佐久間清月　加藤紅珠　岩田玲雨　今川流秀　今枝桃彩　稲葉碧陽　飯田華翠　伊藤鶴雲　角田とも子　岩根桂月　舟橋隆峰　丹羽碧洋　佐藤珠泉　小松月泉　遠座白果　大迫寿星　安藤翠昂　原かをり　野田珠華　谷口朝花　谷口夏鈴　住田花珠　嶋村小楓　柴田智紅　佐々木映花　後藤美川　後藤翠萌　小野坂里楓　小川香風　小笠原寧秀　小笠原美苑　馬場春蘭　内田翠澄　鵜飼水影　安福陽翠　里中紅華　佐藤幽水　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　新井翠眉　新井翠昇　高松美月　祖父江幽華　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　谷口夏鈴　瀧光瑩　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子　山田涼泉　山田弘子　山中豊翠　脇田采藍　新井翠眉　安福展翠　鵜飼水影　小笠原寧秀　小川香風　小野坂里楓　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　瀧光瑩　谷口夏鈴　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

入選　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　渡部優彩　渡辺静扇　渡辺妃翠　森想聲　増田千咲　前田研城　古澤萌春　廣川蒼岳　平野朝陽　早川槙城　谷口夏鈴　瀧光瑩　高松光月　住田明花里　城越千鶴　柴田智紅　佐藤瑶月　佐藤幽水　木村秀華　河合晃城　小野坂里楓　小川香風　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　脇田采藍　山中豊翠　山田涼泉　山田弘子　山田一華

第74回 中日書道展

愛知県美術館ギャラリー
　第一期　令和7年6月18日(水)～22日(日)
　第二期　令和7年6月25日(水)～29日(日)
名古屋市民ギャラリー栄
　令和7年6月17日(火)～22日(日)

準大賞　伊藤紫鳳　酒井照苑　大西影慕　外村幹秀　陣内華苑　則竹彩園　中村真友子　武田芳雨　高松光月　高橋香織　杉山翠蹊　佐藤瑶月　佐久間清月　加藤紅珠　岩田玲雨　今川流秀　今枝桃彩　稲葉碧陽　飯田華翠　伊藤鶴雲　角田とも子　岩根桂月　舟橋隆峰　丹羽碧洋　佐藤珠泉　小松月泉　遠座白果　大迫寿星　安藤翠昂　原かをり　野田珠華　谷口朝花　谷口夏鈴　住田花珠　嶋村小楓　柴田智紅　佐々木映花　後藤美川　後藤翠萌　小野坂里楓　小川香風　小笠原寧秀　小笠原美苑　馬場春蘭　内田翠澄　鵜飼水影　安福陽翠　里中紅華　佐藤幽水　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　新井翠眉　新井翠昇　高松美月　祖父江幽華　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　谷口夏鈴　瀧光瑩　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子　山田涼泉　山田弘子　山中豊翠　脇田采藍　新井翠眉　安福展翠　鵜飼水影　小笠原寧秀　小川香風　小野坂里楓　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　瀧光瑩　谷口夏鈴　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

桜花賞　安藤翠昂　外村幹秀　大西影慕　酒井照苑　陣内華苑　則竹彩園　中村真友子　武田芳雨　高松光月　高橋香織　杉山翠蹊　佐藤瑶月　佐久間清月　加藤紅珠　岩田玲雨　今川流秀　今枝桃彩　稲葉碧陽　飯田華翠　伊藤鶴雲　角田とも子　岩根桂月　舟橋隆峰　丹羽碧洋　佐藤珠泉　小松月泉　遠座白果　大迫寿星　安藤翠昂　原かをり　野田珠華　谷口朝花　谷口夏鈴　住田花珠　嶋村小楓　柴田智紅　佐々木映花　後藤美川　後藤翠萌　小野坂里楓　小川香風　小笠原寧秀　小笠原美苑　馬場春蘭　内田翠澄　鵜飼水影　安福陽翠　里中紅華　佐藤幽水　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　新井翠眉　新井翠昇　高松美月　祖父江幽華　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　谷口夏鈴　瀧光瑩　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子　山田涼泉　山田弘子　山中豊翠　脇田采藍　新井翠眉　安福展翠　鵜飼水影　小笠原寧秀　小川香風　小野坂里楓　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　瀧光瑩　谷口夏鈴　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

〈一科〉推薦　舟橋隆峰　岩根桂月　角田とも子　遠座白果　大迫寿星　丹羽碧洋　佐藤珠泉　小松月泉　谷口夏鈴　野田珠華　原かをり　安藤翠昂　外村幹秀　陣内華苑　酒井照苑　大西影慕　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　山田弘子　山中豊翠　脇田采藍　新井翠眉　安福展翠　鵜飼水影　小笠原寧秀　小川香風　小野坂里楓　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　瀧光瑩　谷口夏鈴　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

準特選　山田涼泉　渡邉照花　佐藤玉琇　佐藤照雲　佐藤幽水　里中紅華　祖父江幽華　高松美月　新井翠眉　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　小笠原美苑　馬場春蘭　内田翠澄　鵜飼水影　安福陽翠　里中紅華　佐藤幽水　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　新井翠眉　新井翠昇　高松美月　祖父江幽華　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　谷口夏鈴　瀧光瑩　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

〈二科〉奨励賞　山田涼泉　渡邉照花　佐藤玉琇　佐藤照雲　佐藤幽水　里中紅華　祖父江幽華　高松美月　新井翠眉　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　小笠原美苑　馬場春蘭　内田翠澄　鵜飼水影　安福陽翠　里中紅華　佐藤幽水　佐藤玉琇　佐藤照雲　渡邉照花　山田涼泉　新井翠眉　新井翠昇　高松美月　祖父江幽華　服部久敬　原尚美　平野朝陽　廣川蒼岳　古田翠楊　宮川桂風　後藤翠萌　山中豊翠　吉田恵翠　渡邊花翠　小西萩花　小林秋月　佐々木映雪　加藤清苑　伊藤翠晨　青野翠煙　廣川蒼岳　古田翠楊　小川香風　小野坂里楓　小笠原寧秀　鵜飼水影　安福展翠　新井翠眉　佐藤瑶月　柴田智紅　城越千鶴　住田明花里　高松光月　河合晃城　木村秀華　佐藤幽水　谷口夏鈴　瀧光瑩　早川槙城　平野朝陽　廣川蒼岳　古澤萌春　前田研城　増田千咲　森想聲　渡辺静扇　渡辺妃翠　渡部優彩　祖父江幽華　佐々木映雪　畑佐昴佳　山岡沙月　稲葉碧陽　古池恵舟　後藤美川　小林秋月　西原昌彩　早川智津子　松任紀柳　大竹瑞光　寺西三舟　水谷玲翠　伊藤敏安　小松美子

支部展・学生展の予告

第70回記念　支部展

一、展覧会　令和七年十一月二十二日(土)～二十三日(日)
一、会　場　一宮スポーツ文化センター

第53回　支部学生書道展

一、展覧会　令和七年十一月二十二日(土)～二十三日(日)
一、会　場　一宮スポーツ文化センター
一、出品資格　幼児、小学生、中学生、高校生
一、出　品　料　四〇〇円
一、出品締切　十月四日(土)

主催　公益社団法人中部日本書道会一宮支部
　　一宮市芸術文化協会

訃報

本号発行までに左記の方がご逝去されました。心から哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。
（逝去順）

顧問　伊藤暁嶺　先生
　　ご令室節子様
評議員　関戸海越　先生
　　ご令嬢彩乃様
評議員　亀山雪峰　先生
　　ご令室文子様
評議員　渡辺湖風　先生
　　ご母堂美津子様

令和6年度　一宮支部収支決算報告

自　令和6年4月1日
至　令和7年3月31日

収入の部

款	項	目	決算額(円)	予算額(円)
1会費収入	1会費収入			
		1理事・監事会費	15,000	15,000
		2評議員会費	440,000	440,000
		3正会員会費	752,000	880,000
		4準会員会費	52,500	60,000
2事業収入	1事業収入			
		1支部展	620,000	800,000
		2支部学生展	1,066,920	1,420,000
		3支部選抜展	0	0
		4支部研修会	60,000	120,000
		5支部講習会	0	0
		6支部祝賀会	870,000	935,000
3雑収入	1雑収入			
		1受取利息	1	0
		2負担金	98,000	95,000
	2愛の募金寄託費	振替(本部・支部間)	100,000	100,000
4投資活動収入	1特定資産取崩	特定資産利息	280	0
		1支部積立金取崩	70,000	0
		前年度より繰越	139,113	60,000
収入合計			4,283,814	4,925,000

支出の部

款	項	目	決算額(円)	予算額(円)
1管理費	1管理費			
		1支部事務所費	937,046	1,040,000
2事業費	1書道振興事業費			
		1支部講演会費	74,165	132,000
		2支部講習会費	0	0
		3支部研究会費	0	0
		4支部研修会費	79,748	60,000
		5支部選抜展費	0	0
		6支部学生展費	1,459,487	1,813,000
		7支部展費	322,608	320,000
		8支部色紙贈呈費	0	0
		9支部書道振興事業費	230,000	350,000
		10記念事業費	0	0
		11支部祝賀会費	798,970	935,000
		1愛の募金寄託費	100,000	100,000
3投資活動支出	1特定資産取得支出			
		1支部記念事業積立金	140,000	70,000
		次年度へ繰越	141,790	105,000
支出合計			4,283,814	4,925,000

編集後記

村上史麗支部長の二期目の一宮支部がスタートしました。支部長のリーダーシップの下、役員一致団結して活性化した支部を目指してまいりますので、皆様方のご指導ご協力をお願いします。

昨年度は支部集会後に、久々に支部創立70周年記念祝賀会が開催され盛会でした。本年度は第70回記念一宮支部展の年に当たり、作品集を制作いたします。支部員の皆様方の多数のご出品をお待ちしております。

編集広報部長　田中石雲